

履歴書及び研究業績等の記載上の留意事項 並びに送付すべき論文別刷について

(1) 履歴書 (様式自由)

- ① 学歴は、大学学部入学以降の学歴及び研究生、専攻生などの事項について記入すること。
- ② 免許・資格はR I 取扱主任者免許など研究遂行上重要と思われるもののみ記入すること。
- ③ 学位は、授与された大学名も記入すること。
- ④ 受賞歴・特記すべき活動等がある場合は、賞の名称、受賞題名、授与機関名、受賞年を記載すること。
その他特記すべき事項があれば、記載すること。

(2) 研究業績

原著、総説、著書、招待講演、競争的資金獲得状況、その他の5つの区分について、明確に記載すること。
いずれも年代順 (過去から最近に渡って) に記載すること。

- ① 原著: Proceedings など原著でないものは一切記載しないこと。
未刊行の原著のうち、印刷中のものは記載してよいが、投稿中のものは記載しないこと。
なお、印刷中の原著については、校正刷あるいは受理証明書のコピーを添付すること。
【記載例】 Williams, K., Christensen, J., Pedersen, M.T., Johansen, J.V., Cloos, P.A., Rappsilber, J., and *Helin, K. TET1 and hydroxymethylcytosine in transcription and DNA methylation fidelity. Nature, 473: 343-348, 2011
※全著者名を記載し、応募者氏名には下線を付すこと。責任著者に*をつけること。
※年代順に並べ番号を付し、主要論文10編以内につき、論文番号を○印で囲むこと。
※各論文のJournal Citation Reportsによるインパクトファクター(IF)及びWeb of Scienceの被引用回数(CI)を記載すること。
- ② 総説: 1990年以降のもののみ記載すること。
【記載例】 大川芳男・小崎敏. サイトカイン応答のシグナル伝達とその制御機構. 臨床免疫, 29: 310-317, 2011
※全著者名を記載し、応募者氏名には下線を付すこと。
- ③ 著書: 著書名、単著、共著、編者の区別、発行所、発行年の順に記載すること。
共著の場合は、分担項目名及びページを記載する。
【記載例】 花岡正男, 免疫細胞学の歩み, 分担, 飯島宗一・石川栄世・山河圭三・島徹郎・森亘編, 現代病理学大系第7巻免疫, 3-10, 中山書店, 2010
- ④ 招待講演: 演題名・学会名・特別講演あるいはシンポジウムなどの別、場所、発表年の順に記載すること。
【記載例】 癌と免疫, 癌学会・シンポジウム, 札幌2010
- ⑤ その他: 所属学会名 (役職がある場合は職名)、特許取得、雑誌の編集委員等について適宜記載すること。

(3) 論文別刷

論文番号を○印で囲んだ論文のうち重要と思われる原著論文5編の別刷各1部を添えること。
なお、それに関連した重要な総説があれば2編以内を加えること。

(4) 研究概要

現在までの研究概要について、2,000字程度、A4判用紙にワープロ等浄書とすること。

(5) 今後の研究に関する抱負

今後の研究に関する抱負について、2,000字程度、A4判用紙にワープロ等浄書とすること。

(6) 教育に対する考え方と抱負

協力講座として大学院生を指導する際の考え方、取り組み方と抱負について、1,000字程度、A4判用紙にワープロ等浄書とすること。

(7) 過去5年間の研究費獲得状況

資金の種類、研究課題名、代表・分担の別、資金額、獲得年の順に記載すること。

- 【記載例】
1. 文部科学省, 基盤A, 免疫アジュバントの研究, 分担, 計9,500万円, 2008-2010
 2. 内藤記念財団, 合成ペプチドのワクチンの効果, 代表, 100万円, 2009

(8) 応募者に関する参考意見を伺える方 (2名)

氏名、所属、役職、連絡先 (電話とメールアドレス) を記載すること。